



# ファンドニュース

2025年9月 第149号

## 「グローバル・ファンド・セミナー 資産運用ビジネスの転換」についてのご報告

### はじめに

PwC Japan 有限責任監査法人は、PwC 税理士法人、PwC ルクセンブルク法人と共に「グローバル・ファンド・セミナー 資産運用ビジネスの転換」と題して、本年度で12回目となるセミナーを2025年7月3日(木)、東京大手町にて開催いたしました。

当日は、100名を超える資産運用会社、投資顧問会社、信託銀行、証券会社などグローバルに資産運用およびその管理にかかる方々にご出席いただき、好評のうちに閉会することができました。お忙しいところご出席いただきました方々に御礼申し上げます。

ここでは、セミナーの目的と内容について簡単にご報告いたします。

### セミナーの目的

本セミナーの前半部分では、はじめに、PwC 英国法人、PwC ルクセンブルク法人および PwC 米国法人からの欧米の専門家を交えて、昨今の市場環境や投資家需要が大きく変化する中、「資産運用ビジネスの転換とテクノロジーの可能性」といった観点でパネルディスカッションを行いました。

特にトランプ政権下の規制緩和、地政学的な分断の進行、各国での技術革新が市場に与える影響が活発に議論されました。さらに、デジタル資産の台頭、ビジネスモデルの再構築、日本経済のインフレ時代への移行についても詳細に分析され、各地域での運用戦略の新たな展開が示されました。

その後、PwC シンガポール法人、PwC 中国法人および PwC 香港法人からアジアの専門家をスピーカーに招き、「アジアにおける資産運用ビジネスの転換」をテーマにパネルディスカッションを行い、アジア地域の資産運用業界における振興策と規制動向について詳説し、各国での投資活性化を取り上げました。特に、日本市場へのオルタナティブ投資の拡大がアジアの投資家間で注目を集めていることが報告されました。

本セミナーの後半部分のワークショップでは、各領域の専門家が資産運用業界における将来の挑戦や機会となり得るトピックを取り上げました。ワークショップ1および2では、投資家・販売会社の運用会社に対する期待の観点から、変容する国内ウェルスマネジメント市場における AWM プレーヤーの戦略やプライベートアセットへの投資が潮流となる中、海外オルタナティブ投資における会計上・税務上の論点などに関して議論しました。また、ワークショップ3および4においては、コーポレートガバナンス、プライベートキャピタル市場の現況などに関して議論しました。

## セミナーの内容

当日のセミナーのセッション、講演者は以下のとおりでした。いずれのセッションも大変好評をいただきました。

セッションタイトル	講演者
開会の挨拶	佐藤 孝 PwC Japan有限責任監査法人 パートナー, 金融事業部、資産運用グループリーダー
パネルディスカッション 1 資産運用ビジネスの転換とテクノロジーの可能性	アルバーサ・チャールズ PwC 英国法人 パートナー グローバル・アセット&ウェルスマネジメント・リーダー  ダリウッシュ・ヤズダニ PwC ルクセンブルク法人 パートナー グローバル・アセット&ウェルスマネジメント・リサーチセンター・リーダー <sup>1</sup>  デクラン・バーン PwC 米国法人 パートナー グローバル・アセット&ウェルスマネジメント・アシュアランス・リーダー <sup>1</sup>  辻田 大 PwC Japan有限責任監査法人 パートナー 資産運用インダストリーリーダー
パネルディスカッション 2 アジアにおける資産運用ビジネスの転換	ポール・パク PwC シンガポール法人 パートナー PwC APAC 資産運用インダストリーリーダー  クワイン・ニー PwC 中国法人 パートナー, 資産運用インダストリーリーダー  ジョセphin・クォン PwC 香港法人 パートナー, 資産運用インダストリーリーダー  辻田 大 PwC Japan有限責任監査法人 パートナー 資産運用インダストリーリーダー
ワークショップ	
1. 変容する国内ウェルスマネジメント市場 —AWMプレーヤーの戦い方	2. プロダクトイノベーション —プライベートアセットの解放
堤 俊也 PwC コンサルティング合同会社 パートナー	ケネス・イーク PwC ルクセンブルク法人 パートナー ジャパンカントリープログラムリーダー
田崎 雅崇 PwC コンサルティング合同会社 パートナー	ティエリー・ブルーム PwC ルクセンブルク法人 パートナー
西郷 篤 PwC Japan 有限責任監査法人 パートナー	箱田 晶子 PwC 税理士法人 パートナー
	クリストファー・クロフォード PwC 米国法人 パートナー
	久保 直毅 PwC Japan 有限責任監査法人 パートナー

<p>3. コーポレートガバナンスに潜む不都合な真実 —企業価値向上へ運用会社・企業双方の立場から 考える</p> <p>久禮 由敬 PwC Japan 有限責任監査法人 パートナー</p> <p>田原 英俊 PwC Japan 有限責任監査法人 パートナー サステナビリティ・アドバイザリー部長</p> <p>小林 たくみ PwC コンサルティング合同会社 パートナー</p> <p>高見 昂平 PwC Japan 有限責任監査法人 パートナー</p>	<p>4. 日本におけるプライベートキャピタル市場の現在地と未来</p> <p>及川 智郎 PwC アドバイザリー合同会社 パートナー</p> <p>佐藤 孝 PwC Japan 有限責任監査法人 パートナー, 金融事業部, 資産運用グループリーダー</p> <p>秋山 潤一郎 PwC Japan 有限責任監査法人 ディレクター</p>
---	---

## おわりに

PwC Japan 有限責任監査法人は、会計および監査のプロフェッショナルとして資産運用業界の発展に貢献することをミッションとしており、海外拠点、税理士法人や弁護士法人などの国内外のネットワークを生かしながらさまざまな提言やサービスを提供しています。今後も多様な形で資産運用業界の発展に貢献したいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

当該セミナーの内容にご興味をお持ちの方は、以下の問い合わせフォームからご連絡いただければと思います。資料、内容などの詳細なご説明をさせていただきます。

なお、文中の意見にわたる部分は筆者の私見であることを申し添えます。

PwC Japan 有限責任監査法人  
金融事業部 資産運用グループ  
ディレクター 又木 直人

PwC Japan 有限責任監査法人

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目1番1号 大手町パークビルディング

お問い合わせ: <https://www.pwc.com/jp/ja/contact.html>

本資料は概略的な内容を紹介する目的で作成されたもので、プロフェッショナルとしてのアドバイスは含まれていません。個別にプロフェッショナルからのアドバイスを受けることなく、本資料の情報を基に判断し行動されないようお願いします。本資料に含まれる情報は正確性または完全性を、(明示的にも暗示的にも)表明あるいは保証するものではありません。また、本資料に含まれる情報に基づき、意思決定し何らかの行動を起こされたり、起こされなかつたことによって発生した結果について、PwC Japan 有限責任監査法人、およびメンバーファーム、職員、代理人は、法律によって認められる範囲においていかなる賠償責任、責任、義務も負いません。

© 2025 PricewaterhouseCoopers Japan LLC. All rights reserved. PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see [www.pwc.com/structure](http://www.pwc.com/structure) for further details.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.